

北海道ミロク会計人会だより

悠久の大地

発行 者：北海道ミロク会計人会（札幌中央区 MJS 支社内）
 発行責任者：中 村 泰 道
 編集責任者：広報委員会 委員長 大 西 啓 二



「青い池」美瑛

主な記事

ご挨拶	2	きたの泉 リターン・ライダー	5
令和3年度第2回役員会報告	3	委員会報告	6
経営支援プロジェクトにつきまして	3	新役員紹介	7
第45回全国統一研修会 熊本大会	4	MJS 社員紹介	8
第46回全国統一研修会 次期開催地	4	編集後記	12

表紙写真

青い池（美瑛）

十勝岳の防災工事の際に、堤防に溜まった川水が偶然青く見えたことから「青い池」として世間に知れ渡るようになりました。青く見える理由は、上流の白金温泉街にある「白ひげの滝」等から、アルミニウムを含んだ水が流れ出ており、これが「美瑛川」の水と混ざること（化学反応？）青く見えるそうです。付近には他にも見所が多くあり、詳しくはコロナ禍の状況をみながら、楽しみつつご自分の目で確かめてはいかがでしょうか。なお、天気の良い午前中がおすすです。（青く見えない場合もあります。）現在では、環境も整備され駐車場完備（AM7：00～PM7：00）、ライトアップ（11月～4月・PM6：00～PM9：00）もされています。

旭川地区会 竹澤 正



ご挨拶

北海道ミロク会計人会
会長 **中村 泰道**

第46回の北海道定期総会は2021年7月に北見の地において開催予定でしたが、残念ながら前前第45回に引き続き、新型コロナウイルス感染症の動向に鑑み開催を中止するとともに、決裁が必要とされる議案については書面決議を行うことで対応をいたしました。

また、役員会、正副会長会、各委員会、連合会の各会議等も適宜WEB会議による対応を交えて開催されているところがございます。

このような昨今の状況は、WEBないしハイブリッド開催による会議のノウハウが蓄積されていくという予期せぬ効用をもたらしている一方で、やはり対面での話し合い、議論等にある代えがたき良さも浮き彫りにしているように感じます。両者の「使い分け」が重要になってくるのではないかと考えております。

なお、都合2回の開催中止となってしまう北見の地での定期総会ですが、次回第47回での開催を実現すべく調整を進めております。毎年恒例の講演会、懇親会等も企画しております。来年の夏は北見でお会いできるとを楽しみにしております。

さて、令和3年度の会計人会の活動についてでございますが、就任以来、私は以下の様に大きく2つの柱に分けて考えております。

- ・ 会員の皆様の研鑽、情報収集、懇親の

ニーズにお応えすること。
・ MJSシステムへの「愛を込めた、どきどき」提言を行うこと。

この2つの柱は、ミロク会計人会の理念に基づき設定したもので、いわば普遍的な会計人会の在り方を私なりに解釈したものとして頂ければと思います。

また、一昨年からは、これら2つの柱により具体的な活動の拠り所となるよう、私なりの現状分析を踏まえた以下の行動指針を加えております。

(行動指針)
会計会のもつポテンシャルを如何にして会員の皆様のメリットに転換することができているかを模索し、それらをわかりやすく伝達すること

「是非入ろう」、「入らなければ損だ」と思える積極的なメリットを見出せないでいたり、或いは気が付かないでいたりする税理士先生にアプローチできるコンテンツを揃え、かつそれらを分かりやすく伝えることができれば、ミロク会計人会は会計人にとって大きな拠り所となることができると思っています。

皆さまのお力添えを賜れましたら幸いです。今年度もどうぞよろしくお願いたしました。

令和3年度 第2回役員会報告

総務委員長 **服部 邦彦**

令和3年度の第2回役員会が役員・支社及び連合会事務局の皆様参加で、札幌支社とZoomで開催され、1号議案(令和2年度事業報告並びに収支決算報告承認の件)、2号議案(令和3年度事業計画案並びに収支予算案承認の件)、3号議案(役員改選の件)、すべてが書面審議により可決承認されましたことが報告されました。

また第47回北海道ミロク会計会定期総会の開催地区が北見市に決定されまして、まさに三度目の正直で、今度こそ会員の皆様との楽しいひと時を北見市で開催できることとなりました。

第45回全国統一研修会「熊本大会」は、コロナ感染拡大により急遽式典、基調講演、大会記念研修会、大会記念分科会はオンラインにて開催予定となります。会員の皆様におかれましては、ご多忙とは思いますがオンラインでご参加いただければと思います。

さらにMJSの主導で会員の皆様の経営に資するべく新しいプロジェクトが開始することとなった報告もありましたので、会員の皆様に対するサービスが更に充実することが期待されます。

● 経営支援プロジェクトにつきまして ●

この6月に立ち上がった経営支援プロジェクトチーム(経営支援PT)は、MJSの中期事業計画で掲げられたDX戦略(デジタルトランスフォーメーション戦略)の実践にあたり、先ず、顧客・顧問先企業との双方にとって利便性の高いものとなるように、企画・開発の段階から税理士・会計士の意見を反映すべく組成された会議体です。

全国の有志20名ほどで組織され、この原稿を書いている8月初頭の段階です。3回ほどの会議が開催されています。

またPTに求められる役割の明確化や、サービスの利便性を高める議論の組上に載せるための吟味・検討が進捗していない印象があり、個人的には、大企業での意思決定、意見調整等には皆

さん苦慮されているのだなと感じたりもしておりますが、MJSの「本気度」は窺える内容であると思います。

北海道の皆様にも今後ご意見を賜る機会があらうかと思っておりますので、その折にはぜひ忌憚なきご意見をお寄せいただければ幸いです。

経営支援プロジェクトリーダー **中村 泰道**

MJS-DX戦略のポイント

- 1 目的
顧問先企業へのクラウドサービスの強化と税理士・会計士が顧問先企業へのコンサルティング・アドバイザリーサービスを提供できるように、MJSがクラウドサービス提供のためにマーケティング、アカウント、会計業務各種業務に合わせた業務環境などを構築すること。
2. 4つのDXの概要)

マーケティングDX Marketing	新卒に開業するMJS-DXプラットフォームをコアとして、既存の顧問先企業との関係性を強化し、企業の成長の加速を図るサービス。
ファイナンス&コントロールDX Finance&Controlling	税理士/会計事務所が顧問先企業の会計データを即時に取得することで、①企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、②企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、③企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、④企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、⑤企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、⑥企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、⑦企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、⑧企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、⑨企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、⑩企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、⑪企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、⑫企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、⑬企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、⑭企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、⑮企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、⑯企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、⑰企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、⑱企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、⑲企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、⑳企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㉑企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㉒企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㉓企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㉔企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㉕企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㉖企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㉗企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㉘企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㉙企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㉚企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㉛企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㉜企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㉝企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㉞企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㉟企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㊱企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㊲企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㊳企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㊴企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㊵企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㊶企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㊷企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㊸企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㊹企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㊺企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㊻企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㊼企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㊽企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㊾企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、㊿企業の実績や財務データをリアルタイムに把握し、
オペレーションDX Operation	MJSの会計プラットフォームのクラウド化による業務効率化を図るためのサービス。
ビジネスDX Business	MJS-DXプラットフォームでの事業展開の促進を図るためのサービス。

オンライン開催となります!!

第45回全国統一研修会 熊本大会

■日程 令和3年11月18日(木)
■会場 ホテル日航熊本

■主催：ミロク会計士会連合会 ■担当：九州ミロク会計士会 ■共催：株式会社ミロク情報サービス
ミロク会計士会連合会が主催する「第45回全国統一研修会 熊本大会」は、2年ぶりに開催する
予定で準備を進めてきましたが、コロナ感染拡大により大変残念ですが式典は熊本で行いオンライ
ンにて開催し中継することとなりました。

基調講演・大会記念研修会・大会記念分科会は、オンラインで開催を予定していますので会員の
皆様におかれましては、ご多忙とは思いますがオンラインにてご参加をお待ちいたしております。
オンラインでのお申込み案内は10月号 CHANNELにて告知予定でございます。

前日の合同委員会、当日の懇親パーティー、翌日の懇親ゴルフ大会、記念旅行は中止となりました。

基調講演

演題：「エイズ治療薬開発から新型コロナウイルス
サウイクルス感染症治療薬開発へ」

講師：国立国際医療研究センター研究所
所長・理事 医師・医学博士
満屋 裕明 氏

大会記念研修会

演題：「IT・AI時代に求められる企業競
争力」

講師：慶應義塾大学・政策・メディア
研究所 特別招聘教授
夏野 剛 氏

大会記念分科会

演題：「今、清正公に学ぶこと」

講師：加藤神社 名誉司
湯田 榮弘 氏

次期開催地のご案内!!

第46回全国統一研修会



HOTEL METROPOLITAN
HOTEL METROPOLITAN
HOTEL METROPOLITAN

○大会開催日程：令和4年10月13日(木)～16日(日)
・大会：令和4年10月13日(木)
開催会場ホテル「ホテルメトロポリタン盛岡」
【本館】〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通1番44号
【NEWING】〒020-0033 岩手県盛岡市盛岡駅前北通2番27号

・懇親ゴルフ大会：令和4年10月14日(金)
募集人数⇒100名 OUT・IN AM8:00 同時スタート予定
開催ゴルフ場



Maple Country Club
メイプルカントリークラブ



・記念旅行：令和4年10月14日(金)～16日(日)

きたの泉

ライター・ライダー



5月連休明けの「ネットのニュース」に「新しくバイクを買った人」の平均年齢54.7歳「波撃」と同じという衝撃」というタイトルで始まる記事がありました。私もこの「世代」のど真ん中ですが、1980年代の「空前のバイクブーム」のときに、ちようど免許取得年齢になっていた「世代」が再びバイクに乗り始めているのです。いわゆる「ライター・ライダー」ですね。

前置きが少々長くなりましたが、私もバイクを買って「ライター・ライダー」の仲間入りをしました、というのが、今回のネタです。

久々に乗った「オートバイ」ですが、なんともまあ、気持ちの良いこと良いこと！
「若かりし日」の思い出が、一気によみがえりました！当時、東京に住んでいた私は、奥多摩国道道路などを走っていたが、フェリーを使って「悠久の大地・北海道」も走りました。今は札幌に住んでいますが、「いつでも北海道ツーリング」という「思われたワー

ケーション環境”にあります。
二輪車は四輪車と違って、“バランス感覚”が必要なうえ、一瞬のミスが大事故につながるので“高い集中力”が必要な乗り物です。あれ、これって、我々税理士の仕事に通じるものがあるかもな〜、と思ったりします。せっかく買ったバイクだ、体力の続く限り乗って“バランス感覚”と“高い集中力”を鍛えて、未永く仕事しようっ、と!!!

札幌地区会 秋 元 務



委員会報告

総務委員会

総務委員会活動報告

コロナウイルスの感染拡大がいまだ終息しない中、第1回と第2回の総務委員会を終えております。例年と同様の活動は困難な状況ではありますが



委員長 服部 邦彦

Web会議等を活用して何とか予定した活動をこなしたいと思っておりますし、第45回全国統一研修熊本大会への協力にも取り組めます。

広報委員会

広報委員会活動報告

1、悠久の大地年2回の発行今年度も皆様のおかげで無事発行できました。ありがとうございます。

2、チャネルの発行2021年4月号を無事発行できました。事務所訪問では塚田先生、リレーエッセイでは竹林先生にご協力頂きました。また、ウポポイの紹介を全国的にすることが出来良かったです。お忙しい中、ご協力本当にありがとうございます。



委員長 大西 啓二

3、委員会の開催状況年4回の開催を予定しておりますが、すでに2回開催をしております。連合会についてもZoom等で会議に参加しております。

4、その他事務所の協力もあり、ライラック通信8月号をお届けすることが出来ました。是非、活用して下さい。

研修委員会

研修委員会活動報告

税経システム研究所講師による研修会ですが、会場型での開催が新型コロナウイルスの影響により困難となり、昨年からの基本的にはZoomによる配信となっております。Zoomになったことにより受講者数が増える



委員長 浦田 敏仁

かという不安要素はありましたが、結果的に今まで以上の受講者数となっております。今後とも委員の皆様が受講しなくなるようなテーマを厳選して開催したいと思っております。

情報ネットワーク委員会

情報ネットワーク委員会活動報告

コロナ禍にあつて委員会は、WEBを中心としたハイブリッド型で行っています。今年も各委員会の共同になりませんが、MJSの業務システムを利用した事務所の業務改善や効率化、生産性をあげるためのWEB



委員長 久保 且佳

研修を企画しています。連合会の委員会は、MJSのデータ取り込み(MJSコネクタ)やRPAについて研究しているところですが、この内容も委員の皆さんに積極的に情報発信していきますので期待してください。

システム開発委員会

システム開発委員会活動報告

システム改善に関する意見・要望アンケートについて、前年度は「2回」でしたが、今年度は「4回」行うことに致しました。意見・要望数を増加させることが狙いです。



委員長 島元 宏忠

皆様、ご協力をよろしくお願いたしました。

同じ要望を何度出していたいたでも構いません。更に、MJSに私たちの声が届きやすくなります。

新役員紹介



理事就任のご挨拶(旭川地区区会長)

この度、新たに理事(旭川地区区会長)に就任をいたしました中島幹雄でございます。他に適任の先生がいないかこのようなお役目をいただき、大変恐縮であり、ご協力に感謝申し上げます。皆様どうぞよろしくお願いたします。

理事就任のご挨拶(苫小牧・室蘭地区区会長)

この度の北海道ミロク会計士会の定期総会での役員改選により、理事(苫小牧・室蘭地区区会長)に選任された柳沢邦則でございます。今迄は研修委員を約10年間程活動してまいりましたが、今後は地区会での活動をさそってまいります。これからは地区会の益々の活発化に向け推進して参りたいと考えておりますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

理事就任のご挨拶(函館地区区会長)

この度の役員改選において、理事(函館地区区会長)に就任いたしました小形でございます。一昨年の全国統一研修会函館大会では、道内の各先生方、各スタッフの皆様には大変お世話になり、また、多大なご協力をいただき、大盛況で終了できたことに、今更ですがあらためて感謝を申し上げます。さて、新役員の一覧を見ますと、当時お世話になりました先生方のお名前が丸見えになり、非常に心強く感じております。まだまだ、今の世の中不安定であり、私生活をはじめに金画運営するにも不自由で困難な対応が求められます現状ではあります。経験豊富な先生方、各スタッフのお知恵も拝借して尽力したいと思っております。経験不足でご迷惑をおかけすることも多々あるとは思いますが、ご指導のほどよろしくお願いたします。



理事就任のご挨拶(北見地区区会長)

この度の定期総会において、北海道ミロク会計士会理事(北見地区区会長)に就任いたしました小作龍二でございます。これまで長期に渡り北見地区会を務めていただいた服部邦彦先生よりバトンタッチを受けました。就任中はこれまでにMJSと地区区会員との連携を図り、互いに良い良い関係を築くよう頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

監事就任のご挨拶

この度の定期総会で、北海道ミロク会計士会の監事という大役をお任せつかりました園田でございます。経験不足であることから、ご迷惑をおかけすることも多々あることかと存じますが、ご指導の程よろしくお願致します。就任したからには精一杯任期を全うしたいと考えております。

MJS社員紹介：ソリューション北海道支社

支社長代理



本多 秀人

今年の4月よりソリューション北海道支社が開設となりました。主に企業の抱えている課題解決を中心に最適なソリューション製品・サービスをご提案させて頂きますので、よろしくお願いたします。

営業第1グループ



廣長 孝将



井田 啓介



松村 肇

業務グループ



石堂 実穂

営業第2グループ



阿部 哲也



水原 佳吾



福士 諒太



福井 直哉

CSグループ



佐藤 あゆみ



増尾 博昭



清野 和宏



大沢 悠樹



小川 暉



MJS社員紹介：札幌支社

支社長



内山 智晴

営業第1グループ



小又 賢也



河越 龍太郎



佐藤 肇明



相田 麻衣

営業第2グループ



三宅 翔太



関 貴之



中村 愛子



佐々木 快人

CSグループ



竹本 浩樹



荒井 雅史



河田 純子



久保 慎二



高橋 優

道東サービスセンター



岩船 向



鈴木 志織



佐々木 祥乃



榎本 泉

会計士会事務局



山家 克朗



後藤 淑子



田中 みどり



齊藤 希菜



令和3年は「デジタル新時代」

今、取り組むべきこと～電子帳簿保存法編～

新型コロナウイルスにより、人と人との接触機会を減らすための「テレワーク」「ローテーション勤務」「時差勤務」が要請され、会社員の働き方が急激に変わりました。それにより、行政手続きのオンライン化、企業はデジタルトランスフォーメーション(DX)への取り組みが急速に進んでいます。

令和3年はデジタル新時代として、取り組むべき電子化についてご案内します。

- I. 電子帳簿保存法の要件緩和の4つのポイント
- II. 令和4年1月1日から「電子取引」電子保存が義務化に!!
- III. スキャナ保存法への取り組みは「経費精算」がポイント!

I. 電子帳簿保存法の改正の4つのポイント

電子帳簿保存法は、大きく「国税関係帳簿書類保存」「スキャナ保存」「電子取引」「電子取引」に分かれます。令和3年度の規制改正により、要件が大きく緩和されると同時に「電子取引」の電子保存が義務化に。企業はもちろん個人事業主も対象となるため、早急な対策検討が必要です。

<電子帳簿保存法の4つの改正ポイント>

1 承認制度の廃止

電子帳簿保存法に対応した機能を備えているスキャナや会計システム等が準備でき次第、速やかに電子保存が可能。

2 タイムスタンプ要件の緩和

スキャニング時の受領者の署名が不要に。タイムスタンプの付与期間が3日→約2ヶ月以内不正防止の策として改正。

3 適正事務処理要件の廃止

「相互けん制」「定期的な検査」「再発防止策」を廃止。社内規程整備を行う適正事務処理要件が廃止。定期検査まで保存が必要だった原本は、スキャナ後にすぐに破棄が可能に。

4 検索要件の緩和

検索要件が「取引年月日・取引金額・取引先」のみに。国税庁などの要求によって電子データのダウンロードに際することとする場合は、範囲指定や項目を組み合わせて設定する機能の確保が不要。

電子データに記録された事項に関して隠蔽または仮装された事実に基づいて申告し、当該データの改ざんが把握された際は、通常課される重加算税の額に10%が加重されます。そのため、不正や不備を防ぐ対策や措置がこれまで以上に重要になります。

ビジネスの安全と信頼を確保するためのサイバーセキュリティ対策

ビジネスを加速・発展させるためのIT環境を、サイバー犯罪によって失速させないために、MJSはセキュリティの予防から事後対処までワンストップでソリューションをご提供いたします。



☆サイバーセキュリティ対策において最優先に行うべきは『予防』です。

予防

MJSセキュリティ製品3点セット

☆起きてしまった事故には、スピーディな復旧策が必要です。

復旧

MJSデータ保全ソリューション

☆事故の対応には、高額な費用が掛かる場合があります。

事故対応費用

サイバーリスク保険

MJSでは、全国各支社に損害保険販売資格者を配置しております。
システムも保険も、担当者にお問合せください。



財務と経営システムのリーディング・カンパニー
株式会社ミロク情報サービス 札幌支社

MJS

検索



経営者には、 たくさんの味方がいる。

経営者には、守りたいものがたくさんある。
強い想いをもつ経営者のまわりにはきっと、
支えてくれるサポーターがいるはずです。
家族、従業員、その家族。さらには、取引先やお客さまも。

経営者が働けなくなる。
そんなとき重要なのは、力になってくれるサポーターのためにも
復帰までの備えをしておくことです。
エヌエヌ生命が出した答えが、就業不能保障保険。
経営者が安心して休めるように。復帰後も、みんなといきいき働けるように。
エヌエヌ生命は、中小企業サポーターとして経営者を応援し続けます。

あなたと、あなたの会社を未来へつなぐ

エヌエヌ生命の就業不能保障保険



NN エヌエヌ生命

編集
後記

悠久の大地・チャンネルと無事発行出来ておりますが、ここ数年（いやそのかなり前から）記事にご協力いただける先生が固定されております。

そのため、新加入の先生にお願いする率が非常に高いです（これは本当にありがたいです）。是非、長くミロク会計人会にいる先生もご協力お願いいたします。

全国統一研修会熊本大会は、コロナ感染拡大のため急遽、式典、基調講演、大会記念研修会大会記念分科会はオンラインで開催予定です。熊本に行けなく残念ですが会員の先生方におかれましては、オンラインでご参加お願い申し上げます。 広報委員長 大西 啓二